

## 経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

○法人名 株式会社青年舎

○経営健全化方針を策定した理由

総務省が策定した「第三セクター等の経営健全化等に関する指針」における、抜本的改革を含む経営健全化に取り組むべき対象とする第三セクター等の基準において、当該法人が「実質的に債務超過であるもの」に該当したため、経営健全化方針を策定することとした。

当該法人は、令和4年度決算において債務超過額が139,589,967円発生した。

○財政的リスクの状況

	令和4年度決算 （※1）	令和5年度決算 （※2）	目標達成年度 （令和9年度）※3
債務超過額（千円）	139,590千円	198,396千円	0千円

※1：経営健全化方針の策定が必要となった決算年度の数値を記載

※2：該当する経営健全化方針の策定要件に関して、直近の決算額を順次記載していく。

※3：当該団体が目標とする財政的リスク解消の達成年度の見通し及び数値を記載。なお、経営健全化方針策定通知においては、今後5年間で経営健全化方針の策定要件（財政的リスク）を解消することを目指して取組を記載することとしていることに留意。

○主な取組状況（令和6年10月現在）

### 【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・経営状況の分析や長期的なキャッシュフローをシュミレーションするなど、精度の高い将来的な経営状況の展望を策定し、結果とのギャップにおける改善点を再考察した。
- ・生産基盤の強化のため、乳牛の舎飼預託や和牛素牛生産を行うとともに、乳代以外の収益の増加を図っている。
- ・関係機関と経営方針の見直しや経営健全化の方策などについての協議を実施した。
- ・総人件費抑制の観点から、役員報酬等の人件費の削減を行うとともに、パート・アルバイトの有効活用等、人員配置の弾力的な運用を図っている。
- ・全ての面においての経費をチェックし、経費削減を図っている。

### 【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・会社経営に対して積極的な関与や定期的なチェックを行っていく体制の構築を検討した。
- ・円滑な牧場運営ができるよう、必要な人件費相当額の見直しを検討した。

- ・ 日常的に発生する全ての収益や経費について確認し、経費削減や経営改善に向けた助言・指導を行った。
- ・ 収支に関して毎月報告を受け、日頃から経営状況の把握に努めている。

○法人の財務状況

【貸借対照表から】

(単位：千円)

項目	令和4年度決算 ※3	令和5年度決算 ※4
資産総額	2,018,196	1,806,937
(うち流動資産)	582,778	463,112
(うち固定資産)	1,388,320	1,297,831
(うち繰延資産)	47,098	45,994
負債総額	2,157,786	2,005,333
(うち当該地方公共団体からの借入金)	0	0
純資産額	▲139,590	▲198,396

【損益計算書から】

(単位：千円)

項目	令和4年度決算 ※3	令和5年度決算 ※4
売上高	561,897	684,480
売上原価	622,126	658,892
販売費及び一般管理費	138,041	137,423
営業利益	▲198,270	▲111,835
営業外収益	53,673	73,417
営業外費用	22,849	22,252
当期純利益	▲161,722	▲58,806

※3：経営健全化方針の策定が必要となった決算年度の数値を記載

※4：直近の決算額を順次記載していく。